

～ ふるさと小樽の未来のために ～ compass

羅針盤

小樽みらい会議会報



08

【小樽みらい会議事務局】
小樽市富岡1丁目25番15号

【発行責任者】
小樽みらい会議 代表

としゃ
はざま俊哉

皆様、その後お変わりありませんか？日ごろ、小樽市政の推進にご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。8月で私の2期目も、4年の任期の折り返しとなります。

さて、去る7月23日、小学2年生の男児が亡くなる痛ましい事故が発生しました。ご家族の心中をお察しいたしますと誠に痛恨の極みです。心からご冥福をお祈りいたします。

市といたしましても、市民の皆様が事故を起こさない、事故に遭わないことを願い、「子どもと高齢者への安全確保のための啓発事業」や「飲酒運転根絶の事業」などを実施しています。また、小樽のトラック協会の皆様には毎年、小学校で交通安全教室を実施いただき、児童のみなさんは大型車の「内輪差」による危険性などを学んでいます。今回の事故を教訓とし、交通事故防止活動に今後ともしっかりと取り組んでいかなければならないと思っています。

前号の「羅針盤」発行以降の本市を取り巻く動きについてお知らせします。

かねてから進められていた大型クルーズ船に対応し



た第3ふ頭の改修が3月に終了し、4月からこれまで勝納ふ頭に接岸していた大型船は、すべて市内の中心部に最も近い第3ふ頭への接岸が可能となりました。

4月21日、国土交通省堂故茂副大臣にご来樽をいただき、竣工式を行いました。

今年は国内外のクルーズ船が32回、小樽港に寄港の予定ですが、クルーズ船が第3号ふ頭に停泊している風景は小樽にとっての新たな「観光資源」と感じています。特に、大型船には3000人以上が乗船しており、寄港時には市内中心部に新しい人の流れが生まれ、クルーズ船の寄港を市内経済の活性化に繋げていくことが課題です。



〈第3号ふ頭に寄港中のダイヤモンド・プリンセス号〉

また、第3ふ頭の基部には、3月に商業機能を有した国際インフォメーションセンターが開業しており、今後、市がその周辺にイベント広場を整備し、新たな交流空間の創出を目指します。毎年秋には在京のクルーズ船社を訪問し、寄港誘致に努めていますが、新たな交流空間の整備は小樽港寄港の動機になるものと期待しています。

一方、小樽市内でも北海道新幹線のトンネル工事が進められておりますが、5月に建設主体の鉄道建設・運輸施設整備支援機構が、予定をしていた2030年度末の函館北斗・札幌間の開業が困難となったことを国土交通大臣に報告しました。

この区間は線路延長が212キロあり、そのうち8割がトンネル区間であり、本市においても5つのトンネル工区があります。これまでもトンネル工事から発生するヒ素など自然由来の重金属を含む土砂の処分や、巨大な岩塊や軟弱地盤の出現により時間を要し、工事の遅れが懸念されていました。

今後、国の有識者会議において新たな開業時期などについて議論されることになっていますが、北海道新幹線は札幌まで延伸されることで、その効果が発揮されるものであり、市としまでも札幌市をはじめ沿線自治体とともに早期の開業を求めて活動を進めます。写真は、天神地区に建設される（仮称）新小樽駅のデ



ザインです。

本市においては、人口減少や少子化など解決しなければならない課題は山積しておりますが、2期目の後半も、課題を着実に解決に繋げ、市民の皆さんにとって暮らしやすいまちづくり、活力あるまちづくりを目指してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

記念碑の除幕式の様子が新聞記事に載ったのは、数年前のことだったと思う。2014年に札幌聾学校に統合された「北海道小樽聾学校」の前身となる「私立小樽盲啞学校」を創設した小林運平先生。

小樽の教育や文化等の歴史に詳しい人であれば、ご存知でしょうか。私は統合されるまでの10年余り、卒業式に出席させていただき、「北海道小樽聾学校」の沿革を知ようになりました。

先生は現在の秋田県大館市生まれ。31歳の1896年に教師が不足していた北海道に渡りました。1903年、量徳小学校で3人の視聴覚障がい児童の担任となったことが聾教育の始まりとなり、1906年「私立小樽盲啞学校」を私財で開校しました。自宅で子ども達を引き取ったりしながら、量徳小学校の教員と兼務したそうです。

当時の小樽は就学環境が悪く、学校へ行かない子どもも多かった。記念碑には次のような内容の先生の言葉が記されている。「普通の人にさえ教育が行き届かないのに、とは道理ではあるが、私は力の及ぶ限り教え試みようと思い、私塾を開いた」

最近、若松辺りを散歩する機会があります。若松1丁目1番1号は「小樽市立病院」、旧量徳小学校の跡地に建設されました。その横通りを札幌方向に下って行くと、若松1・2丁目の交差点にたどり着きます。朝早く通りかかると、台車のようなものに用具類やごみ袋を積んで、付近を黙々と清掃している人を見かけます。

手本となる人は身近にもいるようです。私も、地域のためにできる限りのことをしようと思います。

【小樽みらい会議 代表代行 宮田 康路】

小樽みらい会議

市政報告・講演会のご案内

日時:2024年9月3日(火)18:00~

場所:小樽経済センター7階

主催:小樽みらい会議

お問合せ:TEL.090-5957-5772
(事務局長 高橋)

参加
無料

第2部 講演会

株小樽水族館公社

取締役社長 伊勢 伸哉 氏

「小樽水族館のこれまでの歩み、そしてこれから」

第1部 市政報告

小樽みらい会議 代表 迫 俊哉

